

温泉分析書・温泉利用状況

環分福第 08112 号

1. 申請者 住所 福島県会津若松市東山町大字石山字院内 7 0 6
氏名 東鳳マネジメント 株式会社
2. 源泉名及び 源泉名 東山パーク源泉
湧出地・採水地 湧出地 福島県会津若松市東山町大字湯本字居平 1 1 9 - 2
採水地 福島県会津若松市東山町大字石山字院内 7 0 6
3. 採水地における調査及び試験成績 4. 試験室における試験成績
- (1) 調査及び試験者 株式会社 新環境分析センター 野島 淳志 (1) 試験者 株式会社 新環境分析センター 土田 浩之
(2) 調査年月日 平成 2 5 年 9 月 1 3 日 (2) 分析終了年月日 平成 2 5 年 9 月 2 7 日
(3) 試験年月日 平成 2 5 年 9 月 1 3 日 (3) 知覚的試験 無色澄明、無味無臭である。(採水 48 時間後)
(4) 泉温 53.2 °C (調査時における気温 23°C) (4) 密度 0.9998 (20°C/4°C)
(5) 利用方法 自然湧出・掘削自噴・**動力揚湯** (5) 水素イオン濃度 p H 8.04
(6) 知覚的試験 無色澄明、無味無臭である。 (6) 蒸発残留物 1817 mg/kg (乾燥温度 180°C)
(7) 水素イオン濃度 p H 8.0
(8) ラドン (R n) -

5. 本水 1 キログラム中に含有する成分、分量及び組成

(1)陽イオン成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル (mval%)	(2)陰イオン成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル (mval%)
水素イオン H ⁺	<0.1	-	-	フッ素イオン F ⁻	3.7	0.19	0.71
リチウムイオン Li ⁺	0.2	0.03	0.11	塩素イオン Cl ⁻	366.1	10.33	37.89
ナトリウムイオン Na ⁺	335.2	14.58	53.71	臭素イオン Br ⁻	0.6	0.01	0.03
カリウムイオン K ⁺	3.5	0.09	0.33	ヨウ素イオン I ⁻	<0.1	-	-
アンモニウムイオン NH ₄ ⁺	<0.1	-	-	亜硝酸イオン NO ₂ ⁻	<0.1	-	-
マグネシウムイオン Mg ²⁺	0.5	0.04	0.15	硝酸イオン NO ₃ ⁻	<0.1	-	-
カルシウムイオン Ca ²⁺	247.8	12.37	45.56	水酸イオン OH ⁻	<0.1	-	-
ストロンチウムイオン Sr ²⁺	1.7	0.04	0.14	硫化水素イオン HS ⁻	<0.1	-	-
バリウムイオン Ba ²⁺	<0.1	-	-	硫酸水素イオン HSO ₄ ⁻	<0.1	-	-
アルミニウムイオン Al ³⁺	<0.1	-	-	チオ硫酸イオン S ₂ O ₃ ²⁻	<0.1	-	-
マンガンイオン Mn ²⁺	<0.1	-	-	硫酸イオン SO ₄ ²⁻	762.4	15.87	58.25
鉄(II)イオン Fe ²⁺	<0.1	-	-	リン酸水素イオン HPO ₄ ²⁻	<0.1	-	-
鉄(III)イオン Fe ³⁺	-	-	-	メタ亜ヒ酸イオン AsO ₂ ⁻	-	-	-
銅イオン Cu ²⁺	<0.1	-	-	炭酸水素イオン HCO ₃ ⁻	51.9	0.85	3.12
亜鉛イオン Zn ²⁺	<0.1	-	-	炭酸イオン CO ₃ ²⁻	<0.1	-	-
				メタケイ酸イオン HSiO ₃ ⁻	-	-	-
				メタホウ酸イオン BO ₂ ⁻	-	-	-
陽イオン 計	588.9	27.15	100	陰イオン 計	1185	27.25	100

(3)非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸 H ₂ SiO ₃	49.6	0.64
メタホウ酸 HBO ₂	0.3	0.01
メタ亜ヒ酸 HAsO ₂	<0.1	-
非解離成分 計	49.9	0.65

溶存物質 (ガス性のものを除く)

1824 mg/kg

(4)溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 CO ₂ (遊離炭酸)	<0.1	-
遊離硫化水素 H ₂ S	<0.1	-
溶存ガス成分 計	<0.1	0.00

成分総計

1824 mg/kg

(5)その他の微量成分

総水銀 Hg	不検出	(0.0005 mg/kg 未満)
鉛 Pb	不検出	(0.005 mg/kg 未満)
カドミウム Cd	不検出	(0.001 mg/kg 未満)

総クロム Cr	不検出	(0.005 mg/kg 未満)
総ヒ素 As	0.004	mg/kg

6. 泉質 ナトリウム・カルシウム-硫酸塩・塩化物泉 (低張性弱アルカリ性高温泉)

7. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

(1)浴用の禁忌症

一般的禁忌症

急性疾患 (特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患

(2)浴用の適応症

一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症

動脈硬化症、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、切り傷、やけど

(3)浴用上の注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を 1 日当たり 1 回程度とすること。
その後は 1 日当たり 2 回ないし 3 回までとすること。
- イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね 2 ないし 3 週間を適当とすること。
- ウ. 温泉療養開始後おおむね 3 日ないし 1 週間前後に湯あたり (湯さわり又は浴場反応) が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
- 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは 3 分ないし 10 分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
 - 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない (湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)。
 - 入浴後は湯冷めに注意して一定期間の安静を守る。
 - 次の疾患については、原則として高温浴 (42°C 以上) を禁忌とする。
高度の動脈硬化症、高血圧症、心臓病
 - 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
 - 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 - 飲酒しての入浴は特に注意する。

平成 2 5 年 1 0 月 4 日 登録番号 福島第 3 号 福島県郡山市喜久田町卸一丁目 1 0 4 番地 1 株式会社新環境分析センター

<温泉利用状況>

- 加水の状況・・・気温の高い時期に加水しています。
- 加温の状況・・・貯湯槽を有しているため、衛生管理の目的から加温しています。
- 循環ろ過の状況・・・衛生管理のため、循環ろ過装置を使用しています。
- 入浴剤の有無・・・使用しておりません。
- 消毒処理の状況・・・衛生管理のため、塩素系消毒を行っています。